

令和8年度 学校経営の基本構想図

学校教育目標「人間性を磨き たくましく生きる生徒の育成」

研究主題「学ぶ喜びを感じ、確かな学力を身に付ける生徒の育成」～見通しをもち、主体的に課題を解決する活動を通して～

豊かな人間性（豊かな心）徳

- ・和やかなあいさつ、爽やかな返事ができる
「あかるく、いつでも、相手よりさきに、つづける」
- ・寛容の気持ちを持ち、相手の立場で話を聞いたり、話したりできる
- ・「共助」の気持ちで、互いに協力することができる
- ・生活や文化等の違いや障害等の有無を越えて多様な人々と積極的に交流しながら共生できる

健康・体力（健やかな体・生き抜くたくましさ）体

- ・自分の健康に関心を持ち、生活上の問題に気づき、主体的に心身共に健康に過ごすことができる
- ・日常生活で安全を考慮した行動ができる（自分の命は自分で守る）
- ・食事や睡眠などの適切な自己管理（メディア利用の管理）をし、規則正しい生活を送ることができる
- ・自らの志や目標の実現に向けて積極的に粘り強く努力することができる

資質・能力の育成（確かな学力）知

何ができるようになるか（学校教育の基本）

- ・課題解決に向け、習得した知識・技能を活用することができる
- ・身に付けた「思考力・判断力・表現力等」を用い、未知の状況や課題に対応することができる
- ・学びを人生や社会に生かそうとすることができる
- ・「なりたい自分」に近づくために、何事にも積極的にチャレンジし、自らを高めようと努力することができる
- ・学ぶことに喜びを感じ、生涯にわたって学び続けることができる

何が身に付いたか（学習評価を通じた学習指導の改善）

身に付けたい資質・能力

- ・意志をもって学び 主体的に追究する力 **(シンキング)**
- ・和やかな心で相手と接し 関わり合う力 **(チームワーク)**
- ・気概をもって取り組み 新たな自分を創造する力 **(アクション)**

新しい時代に必要となる資質・能力

- ・生きて働く知識・技能
- ・未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力
- ・学びに向かう力・人間性等

生徒の実態

- ・他者と積極的にコミュニケーションをとることを苦手とする傾向がある
- ・決められたことはやり遂げることができる生徒が多いが、主体的に活動することを苦手とする傾向がある
- ・岩城中学校三本柱（黙想、自問清掃、全校武道）に誇りを持っている生徒が多い
- ・相手の話を受け取ったり相手の気持ちや感情を察したりすることについては伸長の余地がある
- ・自他の尊重（自己肯定感や他者意識）、変化に対応する力に課題がある。

生徒の発達をどのように支援するか（配慮を必要とする生徒への支援）

- ・生徒指導の実践上の視点を踏まえた学級づくりの推進
- ・組織を生かした指導・支援
- ・多角的な視点からの生徒の称揚
- ・個の生徒に対応したきめ細かい指導・支援
- ・自己肯定感・自己存在感を感じる場を意図的な設定
- ・合理的配慮に基づいた支援

校訓と目指す生徒像

【自主 創造】

- ・自主…自分で考え、自分で正しく判断して、自分の力で人生を切り拓いていこうとする態度
- ・創造…自分の人生を、よりよいものにしようとする行動

- (1)意志をもって学び 主体的に追究する生徒
- (2)和やかな心で相手と接し 関わる生徒
- (3)気概をもって取り組み 新たな自分を創造する生徒

何を学ぶか（教育課程の編成）

- ・新しい時代に必要となる資質・能力（「生きて働く知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」）の育成
- ・社会の変化に対応する力の育成（LIFE 総合的な学習の時間）
- ・「特別の教科 道徳」の指導の充実
- ・職場体験活動等を通じた人間関係形成・社会形成能力の育成と、勤労観の育成
- ・岩城中学校三本柱（「黙想」「全校武道」「自問清掃」）を通じた「心・技・体」の育成

どのように学ぶか（教育課程の実施）

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・教科の特質に応じた「見方」や「考え方」を働かせた学習指導
- ・「学ぶ喜び」を実感できる授業展開
—「参加する喜び」「分かる喜び」「できる喜び」「伝え合う喜び」「発見する喜び」を味わう指導の工夫—
※授業づくりと学級づくりの一体的充実
- ・生徒指導の実践上の視点を踏まえた授業づくりの推進
- ・他教科等との学びのつながりを自覚できるような教科等横断的な学習→異学年集団による総合的な学習の時間の実施
- ・1人1台端末を生かしたICTの効果的活用

実施するために何が必要か（指導体制の充実、家庭、地域と連携・協働）

- ・教師力の向上（校内研修体制の充実・授業研究会を通じた研修・キャリアステージに応じた主体的な研修）
- ・学校運営協議会・岩城地域学校運営協議会、PTA等の組織の活用、連携を通じた教育課程
- ・生徒、保護者、地域による育てたい資質・能力の共有（社会に開かれた教育課程）
- ・小・中9年間の発達や学びを確保する連携推進（「小中9年間のキャリア教育」「意和気チャレンジプラン」「9年間を見通したICT活用スキルの育成」）とキャリアラム・マネジメント
- ・働き方改革を推進するための業務の改善や効率化

安全・安心を守る

- ・「いじめ防止基本計画」に基づいたいじめの未然防止
- ・自然災害に対する危機管理と学校安全管理マニュアルの活用
- ・緊急避難体制の確立と訓練の実施
- ・緊急時の保護者への受け渡し方法の確認（下校時等）
- ・毎月の学校安全日における点検（ヒヤリハットの確認と共有）
- ・連絡メールの活用による保護者への周知、徹底

開かれた学校づくり

- ・学校報、学級・学年だより、Webページ等による積極的な情報発信
- ・保護者、地域との教育課程の共有
- ・コミュニティ・スクールの活用と地域との連携
- ・「意和気チャレンジプラン」による小中連携
- ・「あきた型学校関係者評価」を活用した検証・改善
- ・地域の人材や素材・資源の積極的活用

秋田県学校教育が目指すもの 豊かな人間性を育む学校教育 **ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり**
 I 思いやりの心を育てる II 心と体を鍛える III 基礎学力の向上を図る IV 教師の力量を高める
 中央地区学校教育の重点 由利本荘市教育の基本方針